

道徳ファイルの作成・活用

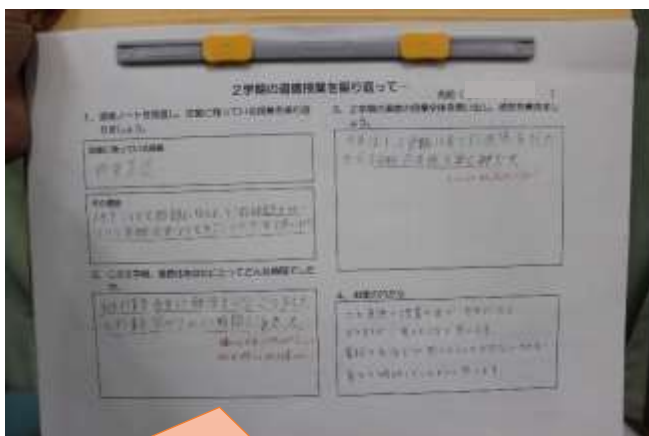
平成30年度の教科化のタイミングから、本校では全校統一して道徳ファイルを作成している。ブロックごとの2年間続けて使用することで、過去の自分の考え方を振り返ったり、変容を見とったりすることができる。

ファイルには毎時間の道徳ワークシートをファイリングしている。ワークシートを蓄積することで、自分がどのように考えて来たかを残すことができた。

また、教員側としては評価をする際の資料として活用することができた。



ブロックごとにファイルの色を変えて管理している。1・3・5年生のファイルは次年度へ持ち上がることになっている。



道徳ファイルは基本的には学校保管にしていたが、学期末には、その学期に学んだ道徳の時間について振り返りをして、家庭に持ち帰らせた。保護者からコメントをいただくことで、道徳の授業について家庭で話題にしてもらうことができた。

学期末振り返りシート



道徳ファイル保護者からの言葉

- 自分の考えや感情・気持ちを言葉や文章にすることは難しく、書けていない所もありましたが、「一輪車にのれた」では、自転車に乗れたことと重なり、体験した事だからかたくさん気持ちを書いていて、親もその時のことを思い出しました。色々な体験をすることで、その立場の人の気持ちがわかると思うので、これから先、色々な事に挑戦し、たくさん感情を経験してほしいと思います。
- お話の中の人の心情をよく捉え、自分なりにその人の思っていることを考えることができています。また、話の内容から自分が思ったこと、今後こうやっていきたいという考えがしっかりしていて、実際生かすことができたならとても良いなあと思いました。道徳の授業で思ったことを日常で思い出し、良い方向へ行動できると良いですね。
- 道徳の授業を通して、本人なりに振り返りがちゃんとできているんだなと思いました。本人の振り返りを読んで、「はっ！！」と思わせられることもあり、私たちも一緒に振り返りができました。今後も道徳の授業を通して道徳心を育てていってほしいと思います。